

旧長沼舞鶴小学校利活用事業 ～『タンチョウも住めるまちづくり』に向けて～

参考資料

北海道長沼町

長沼町について

空知総合振興局管内

札幌市

新千歳空港



町章



面積	168.52km ²
人口(2020年12月末現在)	10,515人
主要産業	農業
交通アクセス	新千歳空港から車で30分 札幌市から車で50分



案件施設 位置



長沼町の「タンチョウも住めるまちづくり」の経緯・体制

舞鶴遊水地

洪水被害軽減のため国が整備

面積：約200ha

容量：約820万m³

2015年度から供用開始



舞鶴遊水地



タンチョウ

写真提供：
札幌開発建設部

2012年8月

→ 工事中の舞鶴遊水地にタンチョウが飛来

2014年5月

→ 「舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会」設立、要望提出

2014年12月

→ 「長沼町タンチョウとの共生検討会議」設立

2016年9月

→ 「タンチョウも住めるまちづくり検討協議会」設立

地元農家

長沼町

国

タンチョウも住めるまちづくり検討協議会

設立
事務局
委員

2016年9月
北海道開発局札幌開発建設部・長沼町
学識者、関係行政機関、町関係団体、NPO 等

生息環境専門部会

委員 学識者、関係行政機関
活動内容 舞鶴遊水地を核にした、タンチョウの生息環境整備に関する検討、取組

地域づくり専門部会

委員 学識者、長沼町住民
活動内容 タンチョウをシンボルにした地域経済活性化、社会形成に関する検討、取組



長沼町の「タンチョウも住めるまちづくり」の取組

生息環境専門部会

タンチョウの営巣・定着に向けた環境整備

営巣環境づくり



アライグマ対策



電線衝突防止対策



地域づくり専門部会

タンチョウをシンボルとした
農業・観光など地域振興
町内の学校へのお出前授業



長沼町 × 鶴居村タンチョウ子ども交流ツアー



タンチョウ関連商品の開発



タンチョウも住めるまちづくりが目指す地域の姿

令和2年3月に廃校となった**小学校跡地を活用**した、遊水地のある舞鶴地区の拠点整備、環境ローカルビジネス構想の構築

田園と自然の共生拠点を核とした地域の賑わい・域内滞留と流域連携

札幌や空港近郊の**好立地**を生かした持続可能なツーリズム実現

令和3年度からの**総合振興計画**への織り込みによる、横断的で持続可能な取り組みの支援

地域ブランドカの向上による関係人口の増加・移住の促進

この地域（空知管内）では100年以上ぶり！5月にタンチョウ誕生を確認した長沼町 **舞鶴遊水地**



舞鶴地区と、**市街地、温泉、集客力のある道の駅、農家・ファームレストラン**等の町内連携

基幹産業である**農業**の振興

グリーンツーリズムの学校受け入れ実績を生かした地方と都市の新たな関係性づくり

野鳥保護と農業の対立的構図を解きほぐし、共生の道を探る対話や環境学習を推進

タンチョウの定着と、それを可能とする環境の整備・生態系の保全

同じ**千歳川遊水地群**を有する5市町との流域連携を進め、ワイズユースの観点から環境保全・観光振興を先導

タンチョウや**渡り鳥**をテーマとした国内・世界各地との交流

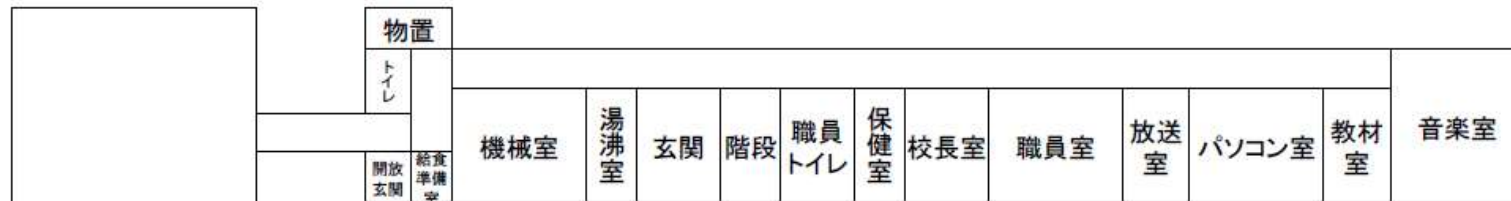
案件施設 詳細

敷地面積: 16,291m²

	建築年月	構造	耐震	階数	面積
校舎	1983年11月	鉄筋コンクリート	新耐震基準	2	1,143m ²
体育館	1976年11月	鉄筋コンクリート・鉄骨	2015年耐震改修	1	442m ²
校庭					7,798m ²



1階



2階



ボイラ
室

4 2 0 4 8m



案件施設 写真



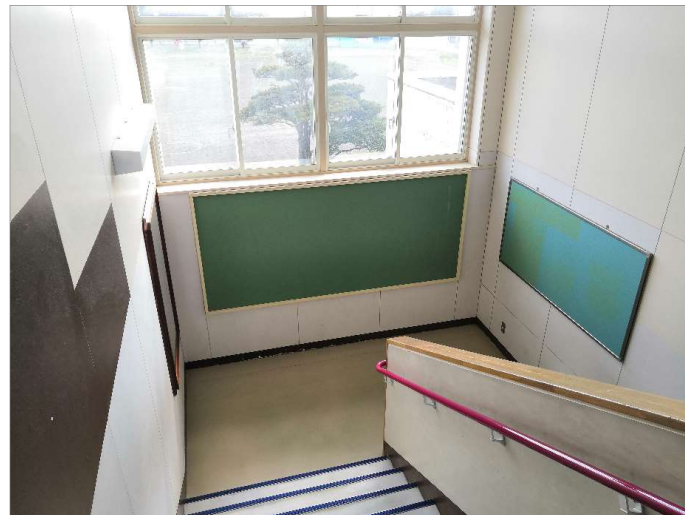
校舎(正面)



校舎(側面)



校舎(教室)



校舎(階段)



案件施設 写真



体育館(外観)



体育館(内観)



職員宿舎①



職員宿舎②



職員宿舎③



職員宿舎④

